

東洋大学学術情報リポジトリ Toyo University Repository for Academic Resources

シンポジウム「多文化アジアの教育問題? 韓国・台湾の場合

雑誌名	アジア・アフリカ文化研究所研究年報
巻	27
ページ	161-161
発行年	1992
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00011226/

〈報告〉

シンポジウム

多文化アジアの教育問題 II

—韓国・台湾の場合—

日時 一九九二年一〇月三一日

会場 白山校舎 一五〇番教室

司会 研究会 阿部照男・谷口房男

報告

韓国における教育改革の軌跡と課題

筑波大学教育学系助教授 朴 聖 雨

台湾（中華民国）の教育改革——教育制度を中心に——

多摩大学教授 洪 祖 顕

討論

朴 聖 雨 吉田 辰雄

洪 祖 顕 針生 清人

はじめに

一昨年は、シンポジウム「多文化アジアの人間観」を企画し、多様な文化を有する諸民族の人間観について論じていただきました。昨年は「多文化アジアの教育問題I—インドネシアの場合—」と題し、アジアの教育の多様性と普遍性、さらに、カリマンタン（ボルネオ）の国民統合の教育、国民教育制度とマンパワー、について各専門家からお話をいただき、それらの問題について討議致しました。

今回は「多文化アジアの教育問題II」と題し、韓国、台湾に焦点をあて、専門家の立場からお話をさせていただくことに致しました。

インドネシアについては、数年にわたり現地調査を重ねており、また韓国と台湾については、両国の研究者との相互の学術交流に加え、数多くの現地調査を行ってきました。

教育問題は、それぞれの民族および国家が、みずからの文化・社会をにない、創り出していく人間を育成するために、各国が真剣に取り組んでいる重大問題です。そこで韓国と台湾をとりあげ、その具体的な教育問題について究明してみたいと思います。